

函館市観光基本計画 2024-2028 目標値の進捗について

令和 8 年度 第 1 回函館市観光アドバイザー会議

令和 8 年 7 月 24 日

函館市観光部観光総務課

1. 函館市観光基本計画 2024-2028 の概要

➤ 計画期間

令和 6 (2024) 年度から令和 10 (2028) 年度までの 5 年間

➤ 5 年後の函館観光が目指すあるべき姿

観光誘客による観光消費額の増加により、観光業の売上を増加させ、観光業を活性化させる。これにより、観光産業の振興が図られ、関連のある事業者へも直接的な効果があり、また、観光消費による経済波及効果や地域経済循環により、他産業にも売上の増加をもたらすほか、市民生活にも経済的な効果が波及している。

➤ 基本理念

観光の価値を高め、函館を照らす ～もう一回、もう一泊、もう〇〇～

➤ 基本方針

(1) 質の高い観光により観光消費額を向上させる

観光入込客数を増やすことだけを目的とするのではなく、函館の観光の価値を高め、観光客の満足度が高い、良質な観光の提供に主眼を移します。

(2) 観光の繁閑差を是正する

閑散期となっている下半期（10 月～3 月）の観光需要の喚起を推進し、観光事業者の経営の安定化や、オーバーツーリズムの抑制を図ります。

(3) 函館観光を盛り上げる人を増やす

函館市民が函館の観光に関わりを持ち、応援していただけるような、また一緒に函館観光を盛り上げる取り組みに参加してもらえるような地域づくりを進めます。

(4) 観光を通じて函館が潤う地域づくりを進め、観光への市民理解を促進する

観光関連産業はすそ野が広く、観光消費が幅広い産業に好影響をもたらしていることを周知するとともに、好影響の効果をより高め、観光の重要性に対する市民理解の向上を促す取り組みを進めます。

➤ 目標値の設定

基本方針で掲げた取り組みに対する達成指標と目標値を，次のとおり設定しています。

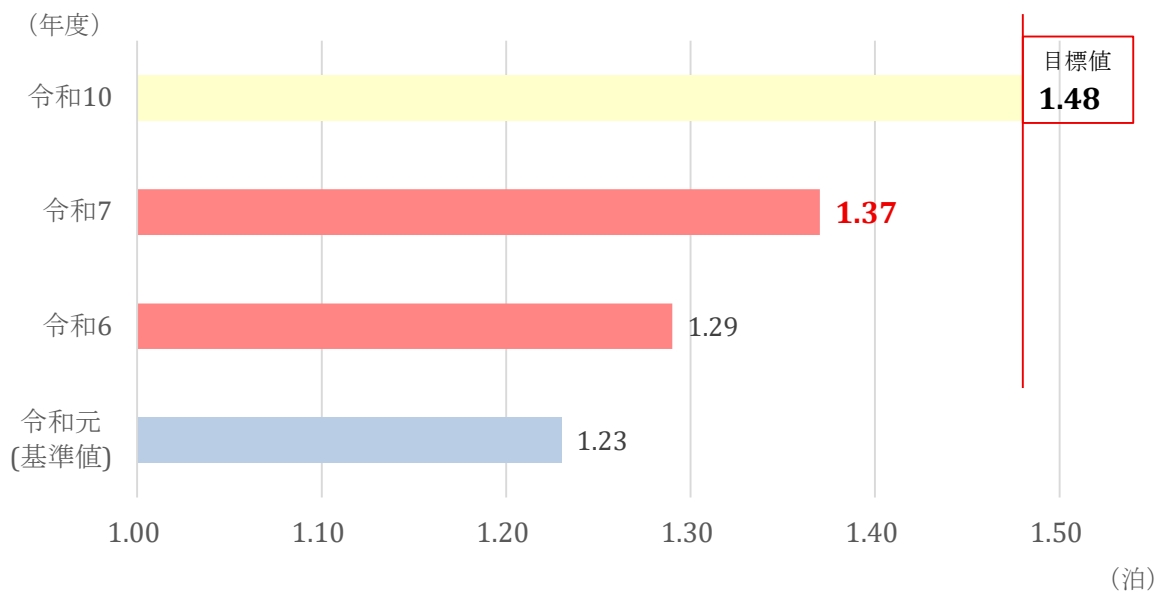
基本方針	指標		基準値	目標値 (R10 年度)
基本方針 1 「質の高い観光により観光消費額を向上させる」	平均宿泊数		1.23 泊	1.48 泊
基本方針 2 「観光の繁閑差を是正する」	平準化指数		0.58	0.63
基本方針 3 「函館観光を盛り上げる人を増やす」	函館観光に関わる取組みに「参加する」市民の増加	観光に関わる市民の増加	16.4%	増加
		情報発信への参加率	21.7%	33.0%
	家族や友人，知人に函館観光を「ぜひ勧めたい」と考える観光客の増加	国内観光客からの推奨度	81.4%	増加
		外国人観光客からの推奨度	80.5%	増加
基本方針 4 「観光を通じて函館が潤う地域づくりを進め，観光への市民理解を促進する」	市民理解度		90.1%	増加
	市民からの推奨度		61.9%	増加

2. 平均宿泊数の達成状況

➤ 目標値と最新実績

	基準値	実績		目標値
	R 元年度	R6 年度	R7 年度	R10 年度
A 実宿泊客数 (単位：千人)	3,098.6	3,668.8	3,692.9	－
B 延べ宿泊客数 (単位：千人)	3,824.2	4,727.3	5,042.9	－
B ÷ A 平均宿泊数 (単位：泊)	1.23	1.29	1.37	1.48
目標値達成率	－	87.2%	92.6%	100.0%

平均宿泊数の推移



- 令和 7 年度の平均宿泊数は 1.37 泊となり、前年度から 0.08 泊増加し、基準値を 0.14 泊上回りました。

宿泊客実人数がほぼ前年並みで推移する一方、延べ宿泊者数は約 504 万 3 千人泊（前年度比 106.7%）と大きく増加し、初めて 500 万人泊を超え、目標値に対する達成率は 92.6%となりました。

- 平均宿泊数増加に向けた令和 8 年度の主な取り組み

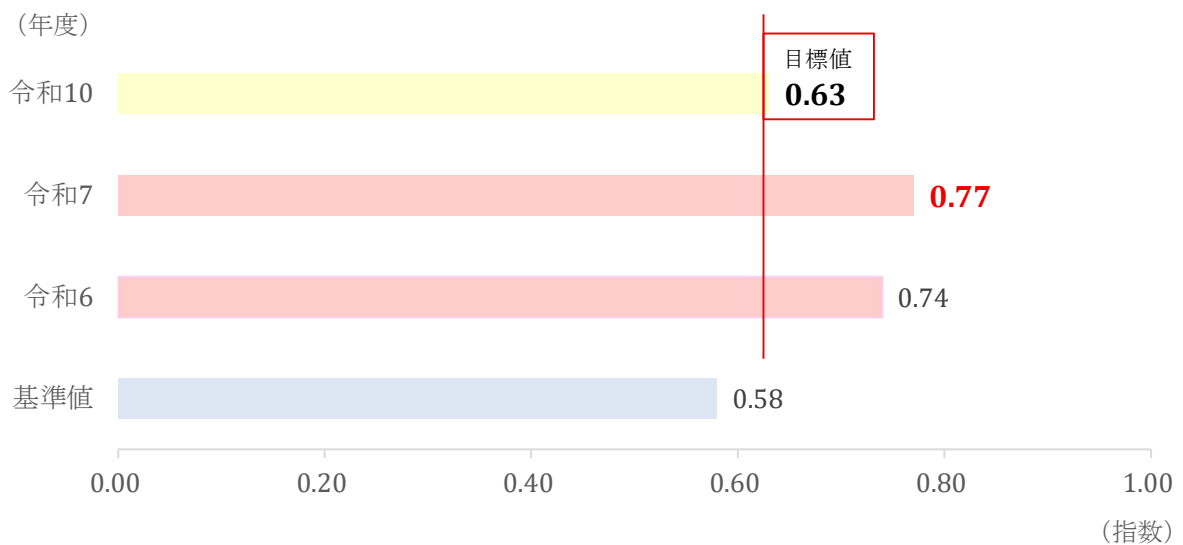
- ・ 湯の川温泉エリアプロモーション
 - ・ 滞在型観光の促進
 - ・ 函館山夜景魅力度向上事業
 - ・ アメリカ・オーストラリア市場プロモーション
 - ・ インバウンド向け SNS 等活用プロモーション
 - ・ 定期観光バス実証運行事業
 - ・ 「函館×ゴールデンカムイ」特別イベントの開催
 - ・ コンベンション誘致
 - ・ ユニバーサルツーリズムの推進
- など

3. 平準化指数の達成状況

➤ 目標値と最新実績

	基準値	実績		目標値
	H29(2017)年度～ R元(2019)年度 の平均値	R6年度	R7年度	R10年度
C 上期 観光入込客数 (単位：千人)	3,357.5	3,452.6	3,426.7	－
D 下期 観光入込客数 (単位：千人)	1,934.8	2,569.0	2,630.9	－
D÷C 平準化指数	0.58	0.74	0.77	0.63
目標値達成率	－	117.5%	122.2%	100.0%

平準化指数の推移



- 令和 7 年度の平準化指数は 0.77 となり，前年度の 0.74 から 0.03 ポイント上昇し，令和 10 年度目標値の 0.63 を 0.14 ポイント上回りました。
繁忙期の入込客数は 342 万 6,700 人で前年度比 0.8%減となった一方，閑散期は 263 万 900 人で同 2.4%増となり，下期として過去最高を更新しました。
- 繁閑差の是正に向けた令和 8 年度の主な取り組み
 - ・インバウンド直行便活用誘客促進事業
 - ・冬季道南周遊観光推進事業
 - ・青函圏周遊観光促進事業
 - ・秋季イベント(グルメワンダーパーク，MOMI-G フェスタ)の開催
 - ・冬季イベント（（仮称）はこだてウィンターイルミネーション等)の開催など

(参考)

年度	観光入込客数		平均 宿泊数	平準化 指数	備考
	上期 (単位：千人)	下期 (単位：千人)			
H28 (2016)	3,664.7	1,942.2	1.21	0.53	北海道新幹線開業
H29 (2017)	3,382.4	1,864.4	1.22	0.55	
H30 (2018)	3,251.3	2,010.0	1.27	0.62	
R元 (2019)	3,438.9	1,930.0	1.23	0.56	
R2 (2020)	1,841.1	1,261.7	1.13	0.69	コロナ禍
R3 (2021)	2,000.4	1,461.9	1.24	0.73	コロナ禍
R4 (2022)	2,611.4	1,936.0	1.31	0.74	コロナ禍
R5 (2023)	3,138.9	2,146.6	1.26	0.68	5月コロナ明け
R6 (2024)	3,452.6	2,569.0	1.29	0.74	劇場版名探偵コナン公開
R7 (2025)	3,426.7	2,630.9	1.37	0.77	北海道新幹線開業 10周年